

第4回日立市新庁舎建設市民懇話会会議録

1. **開催日時** 平成24年7月6日(金) 午後1時30分～午後3時30分

2. **開催場所** 日立市役所 議会第1・第2会議室

3. 出席者

(1) 新庁舎建設市民懇話会委員

小柳委員(会長)、富樫委員(副会長)、秋山委員、有賀委員、金子委員、小室委員、
佐々木委員、佐藤委員、柴田委員、白土委員、館岡委員、沼田委員、橋本委員

以上13名(欠席 志賀委員、五来委員)

(2) 事務局

梶山総務部長、(庁舎建設準備室)岡部室長、佐藤室長補佐、助川係長、田村係長

以上5名

(3) 傍聴者

日刊建設工業新聞 以上1者

4. 会議資料

(1) 会議次第

(2) 第4回 新庁舎建設市民懇話会資料

(3) 第4回 新庁舎建設市民懇話会補足資料

5. 会議内容

会長: 前はたくさんの意見をいただいた。今回は、経済性に配慮した環境にやさしい庁舎、市民が集う交流機能等の2点について、アイデアや意見をいただきたい。議題に入る前に、前回質問いただいた内容に関する回答を事務局の方で用意してあるので、説明いただきたい。

事務局: (補足資料「免震装置の耐久性、数沢川の排水能力」について説明)

委員: 免震装置の耐用年数が60年ということだが、その期間を過ぎて取り替える場合、建物を壊さなくても取り替えが可能なのかを確認したい。

事務局: 建物をジャッキアップして交換することが可能である。

委員: 話で聞くと簡単だが、本当に大丈夫なのか。

委員: 今の工法で行えば問題ない。

委員: 川の排水能力については、データと過去の実績からすれば納得できるが、九州地方で起きている集中豪雨などを考えた場合、80mmや100mmの計算値で大丈夫なのか。

事務局: 過去の実績をもとに、さらに安全側に見込んで設計するなど、十分に考慮したい。

会長：川の断面も広がるのか。

事務局：検討していきたい。

委員：庁舎内に、川の水が入り込む心配があったので確認した。流木が詰まって溢れることも考えられるのではないかと。

事務局：建物の造り方についても、万一のことを考えて十分に配慮していきたい。

会長：大事なことだと思う。それでは議題の方に入るが、前回同様、機能ごとに進めたい。

事務局：（「経済性に配慮した環境にやさしい庁舎」について説明）

委員：つくば市は、1・2階部分が自然換気や自然採光が考慮されていて良かったが、3階以上は曇囲気がガラッと変わったような気がした。あの辺りは、少し考慮する必要があると思う。

事務局：配慮していきたい。

会長：自然採光は、太陽光と一緒に熱エネルギーも取り込んでしまうが、最近は、熱エネルギーだけを遮断できるものも出てきていると聞いている。値段は高いのだろうが。

委員：太陽光パネルは、どの位のエネルギーをカバーしようとしているのか。他の例を見ると、PR目的の設備になっているような気もするが。

事務局：1つのエネルギーで全体を賄うのは困難であると考えている。逆に、複数のエネルギー媒体を準備することが、災害対応等にも必要だと思う。ガス発電を採用している例もある。今後、具体的に検討していきたい。

委員：全く同感で、前回の災害対応の議論の延長にもなるが、ぜひ検討してほしい。

事務局：市民交流センターにも太陽光パネルと蓄電池を配備していきたいと考えている。蓄電池は日々進化しており、その辺りを踏まえて検討していきたい。

委員：LED照明もかなり進んでいるので、少なくとも検討は行ってほしい。

委員：費用対効果を考えると、太陽光パネルよりLEDの方が効率的であると思う。

委員：LEDもそうだが、他市の事例を見ると、屋上緑化、雨水利用、自然通風の利用については、それぞれ理由があるのだと思う。たとえば、屋上を緑化した場合と、太陽光パネルを敷き詰めた場合とで、費用対効果はどうか。また、以前に自宅で太陽光パネルを検討した際、減価償却してプラスになるのに15年かかる計算であった。現在は性能も良くなっていると思うが、設備の劣化や交換の問題もあり、慎重に検討してほしい。

会長：省エネ的な発想での緑化であれば、当然、太陽光パネルとの比較検討が出てくると思う。緑化の目的が他にもあるなら別だと思うが。

委員：日立市の場合、年間で天気のいい日はどのくらいあるのか。日照時間による計算も、一つの考え方ではないか。また、新庁舎の屋上面積によっては、溜められる雨量なども違うと思う。そういうことが分からないと、どう答えてよいのか疑問に思う。

事務局：年間の晴天日数は、およそ30%程度と思うが、宿題とさせてほしい。屋上緑化や雨水利用に関しては、一時、環境問題で取り組むビルが増えたが、建物の雨漏りや緑化の維持管理の面でのデメリットもあると考えている。屋上の形にも関係するが、自然エネルギーという観点からすれば、雨水をとるのか、緑化による自然放射をとるのか、太陽光をとるのか、といっ

たメリット・デメリットの計算をする必要があると思っている。現在は、まだ具体的なデータを持ち得ないが、今後、積算していきたい。

委員：新しい建物に、光熱費がどのくらいかかると、その何%を自然エネルギーとするのか、そういった見通しがあれば、意見も出しやすいのではないかと。

事務局：現段階では最終的な機能の詰めができていないため、想定が難しい。

委員：10ページに、今の庁舎と最近の建物との比較がされているが、これは当然の結果なので、新しい設計が、他の新しい建物と比べてどうかというのが問題だと思う。

事務局：基本設計のレベルになれば、具体的な数値が出てくると考えている。

委員：私は、屋上緑化はあまりよくないと考えている。維持管理が難しい部分が多い。経費の面から見ても、太陽光パネルや雨水利用の方が有効なのではないかと。

委員：緑化の件で、最近ではLEDで野菜を作ったりしている。職員のストレスを軽減するために、LEDを使いながら緑を育てて、自給自足のような取り組みを行ってもよいのではないかと。レストランなどでもやっているところがある。一石二鳥ではないかと。

会長：家庭でやっているグリーンカーテンなどもそうだと思う。環境共生機能については、自然採光、自然換気については是非、検討いただきたいということ。太陽光パネルについては、他の自然エネルギーとの組み合わせを考え、効率性を検討した上で導入検討をお願いしたい。LED照明については、経済性や効率性などの面から前向きな意見が多かった。屋上緑化については、メリット・デメリットがあるので、屋上の形態による雨水利用や、日照時間等を踏まえた太陽光パネルも含めて、設計段階ではしっかりと比較検討をしていただきたい。

委員：データによる最終的な報告をお願いしたい。

委員：奇抜なアイデアだが、屋上に大きな扇風機をつけて冷たい外気を取り入れるというのも一つの方法ではないかと。

委員：費用対効果が問題になると思う。

事務局：日立は気候もよいので、電力に頼らない、開閉式の窓や自然通風などの手法を有効に取り入れることが重要であると考えている。

委員：自然の活用に越したことはないが、自然採光を行ったら、暑くて後から空調設備を導入したという例もあり、(建物内の)環境を良くするための設備は必要になってくる。

事務局：メリットとしてやったことが、逆にデメリットとならないように検討したいと思う。

委員：自分の家をつくったときに、どこからでも光や風が入るようにした。海が近くて涼しいので、近所でもクーラーはほとんど使っていない。県庁のように吹き抜けの空洞をつくるかどうか分からないが、自然の風と光で仕事ができれば理想的であると思う。

事務局：建物の構造はこれからなので、効率的な事務ができるようにすることが第一だが、それに合わせる形で、自然の取り込みも考えていきたい。

委員：つくば市では、階段部分に明り取りがついていて良かった。

会長：経済性や耐久性に優れた構造、設備については、基本的な考え方については問題ないと思う。ただ、スケルトン・インフィルについて、立川市の例なども機能的には良いと思うが、景観的に納まらない部分もあると思うので、景観的なところも少し意識した方がよい。視線を工

夫すれば、あまりお金をかけなくてもできると思う。

事務局：（「市民が集う交流機能等」について説明）

委員：市役所に出入りする人数は、1日どの位か。

事務局：平成22年に1週間調査した結果、平均で1日1,070人であった。

委員：市役所に会議室が少ないのは前々から気になっていた。つくば市では、会議室が結構あったようだが、それでも少ないということであった。11ページのように、公用財産と公共用財産に区分してしまうと、市役所の中には、市民が使える会議室は作れないということになるのか。

事務局：この会議のように、市が主催して市民の皆様にご参加いただくような場合は使用できるが、例えば町内会の会議のように、市民が主体で使うようなことは想定していない。

委員：「こども芸術祭」の会議は、年間5回ほどあるが、毎回場所がない。教育プラザを使うと、駐車場がないため不便である。事務局が市民活動課なので、そういう会議なら使えると言うことか。

事務局：そうです。

委員：ぜひ、このような会議ができる場所を確保していただきたい。また、地域には色々な団体があるが、各地区の交流センターは利用率がほぼ100%で、申し込んでも取れないことが多い。できれば、市役所に来たついでに、打ち合わせができるスペースがあれば、駐車場が広くて集まりやすいので大変助かる。ギャラリーのようなフリーな空間も、来庁したついでに見ることができるようなものがあれば、出展者のやりがいにもつながり、市民交流の場も生まれるのではないかと。

委員：ボランティア団体においても、場所の確保が非常に難しい。私は、各種女性団体連絡会から出ているが、市役所に、ボランティア団体が使えるような会議室があれば助かる。市のために活動をしている団体なのに、場所がないので会合ができないというのは残念である。強く要望したい。

会長：そういったことは可能なのか。

事務局：市が直接関与しない場合は難しい。事務局として市が関わっているものであれば使用可能である。例えば、女性青少年課が事務局であれば、使用できると思う。一般の団体の方が、市民会館やシビックセンターの会議室を利用するような、いわゆる公共施設のような使い方は難しい。

委員：そのあたりは、一線を引かなければならないのではないかと。そのために、交流センターや市民会館、シビックセンターがあるのだと思う。市役所であるから、何でも貸すというのでは、収集がつかなくなってしまうのではないかと。

委員：市民会館は借りられるが、市全体の活動を行っている団体は、地域の交流センターは借りづらい。市民会館は減免措置もあり、使用料も多少は安くなるが、やっぱりお金はかかる。

委員：交流センターは、確かに地域性もあるが、市民の使う場所ということで、かなり使えるようにはなっていると思う。

事務局：どこかで線を引いておかないと、新しい庁舎では、ますます会議室が足りない状況になってしまう。庁内の会議ができなくなるとは本末転倒になってしまう。

委員：登録制などはできないか。

委員：私も、市の主催する会議に参加することが多いが、市の主催であっても、市役所ではなく、シビックセンターなどで行うことが結構ある。市の庁舎内に、そういった会議室がないからだと思う。市の会議が、庁舎の中でできるようなスペースは確保すべきだし、それで、市民の方が公共施設を利用できるような環境をつくるべきではないか。つくば市でも同様の説明があったと思う。

委員：今は、各課の打ち合わせをするスペースもないと思う。現在の庁舎は、増築々々でつくられており、会議室を確保するという考えもなくやってきたのだと思う。新庁舎で会議室がたくさんできれば、その分、市民用の公共施設の会議室が使えるようになるのではないか。

会長：会議室の稼働率を調べれば、そのあたりは整理できるのではないか。

委員：教育プラザの機能がこちらにくるのだと思うが、国際交流サロンや教育相談機能はどうなるのか。

事務局：公共施設か、公共用施設かに基づいて区分したいと考えており、庁舎の中がよいのかどうかについては、担当課と協議していきたい。

委員：教育委員会の事務局が新庁舎に移るのであれば、関連してそのような機能も一緒に移動した方が良い。

事務局：例えば、国際交流機能は、市民が気軽に出かけて相談するような施設なのか、国際交流という政策を判断する事務を執る機能なのかということをもとに判断していきたい。

委員：県庁に行くと、食堂や売店を利用している人も多い。県庁に会議にきて、その余暇を使って利用しているのだと思う。余暇時間を使って、色々なイベントに参加してもらえるような形も一つの方法なのではないか。

会長：会議室については明確に分けた方が良い。レストランについてはどうか。

委員：私は、どちらかというと否定的で、本格的なレストランではなく、つくるのであれば職員の方がきちっと使えるものをつくり、それを市民も自由に使えるという形が良いと思う。市民向けのレストランであれば、近くに無いわけではない。市役所の周りに、大勢の人が一時期に食べられる施設はないので、職員向けの食堂をつくって、市民も気軽に使えるという。それによつては、場所も変えなければならぬ。県庁は、職員が入れるところがあつて、屋上には展望のいいところがある。2つつくる必要はないと思うが、どういう機能を持たせるのかによつて場所が変わってくるのではないか。職員向けのレストランは必要だと思う。

会長：私も職員向けのレストランというイメージだが。

委員：今は、県でも市でも、会議で食事を出すことはほとんどないので、支障はないと思う。

会長：囲い込むのではなく、外に食べに行くという方が、まちには良いのではないか。

委員：商工会議所としては、外に食事に出てもらふことが理想ではあるが、庁舎にお茶を飲む場所などができれば、まちの活性化にもつながるかも知れない。

委員：昔は、高校生が集まる場所があつたが、今は駅前の商業施設からも店舗が撤退している状

態である。そのような場所が市役所内にできて、学生たちがボランティアなどの時間外教育の場となれば良いのではないか。

会長：教育委員会がこちらにくると、教育プラザはなくなるのか。

事務局：跡地の活用については、未定である。

委員：庁舎に学生が集まるような機能というのは難しいかもしれない。シビックセンターの空きスペースなどの方が良いのではないか。

委員：大人になって税金の事などを学ぶようになるが、学生の時に、市や国の事に触れていくことは大事だと思う。

事務局：情報発信コーナーなどを充実させて、学生が立ち寄るようになればよいのかと思う。

委員：最終的には、市として多目的スペースが必要になると思う。自由に割って使えるようなスペースがあれば良いと思う。中には映像や音響装置をきちんと整えて、職員の研修や市民の利用などができると良いのではないか。

委員：駐車場は有料か、無料か。

事務局：今のところ有料化は考えていない。近隣の自治体でも有料にしているところは少ない。多賀の市民会館は、駐車場が100台しかないため、有料にしないと回転しないということがあり、有料とし、長時間駐車を防いでいる。

委員：減免措置を講じていると思うが。

事務局：1時間まで無料となっている。市民会館でサークル活動等を行っている人は、2時間まで無料としている。それ以降は、有料にさせていただいている。買い物に行くために駐車場に止めた方も有料である。

委員：レストランの話だが、会議に来たときに、付き添いの人が時間を過ごせるような場所があると良い。この周辺にはそういう場所が無く、車で待機したり、ロビーにいたりするが、不思議な目で見られる。食堂に自販機などを設置して、喫茶的に誰でも立ち寄れるようなところがあると助かる。

委員：県庁の食堂は、カロリー計算が表示されている。職員だけでなく、市役所を利用する市民もそういうものを利用できるようになれば、活性化が図れ、収入も上がるのではないか。

事務局：職員食堂でもカロリー計算をして表示している。

会長：私の大学の食堂でも、レシートにカロリーや塩分表示等がされている。

委員：市の職員もスマートになって良いのではないか。

会長：食堂がどの位置にあった方が良いかということについてのご意見は。

委員：高い場所から景色を見渡せるようになると、気分転換にもなるのではないか。実用的には下の方が良いのかもしれないが。

会長：事務局の方は、どのあたりにあれば良いと思うか。

委員：東京では、高層階に食堂がある事務所もあるが、高層階だとエレベーターに人が集中して利用しづらい。職員のシフト制を敷くなどの対応も難しいと思うので、市民の立場からすると景色がいい方がよいと思うが、メインが職員であれば、利用しやすさを中心に考えると良い。

会長：開庁時間や営業時間にも関係してくる。

委員：水戸医療センターは、レストランが最上階にあり、職員用が2／3で、一般用が1／3に分かれている。レジは共用だが職員は100円引きになる。この階にはギャラリーと床屋と自販機スペースもあり、多くの人が利用している。病院なので、カロリーも計算されている。安くおいしくて、景色も良い。震度5弱のときもエレベーターは自家発電で動いていた。そういうことから上階にあった方が良い。

委員：内部と外部の人の席が一緒なのは、よくないのではないか。

事務局：参考までに、現庁舎は4階建てだが、屋上からは海が見える。今回は、それ以上には高くなると思う。

委員：眺望に価値があるか、魅力的かということも考えるべき。

事務局：現実的な話としては、職員の昼食だけを対象としても、事業的にはペイしないと思われる。外部の利用も考える必要があると思う。

委員：職員が事務机で弁当を食べているのは気の毒である。バックスペースが必要だと思う。

事務局：職員のバックヤードも考えないと、窓口から見た時もあまり良い景色ではない。

会長：情報発信・共有機能について、何か意見はないか。

委員：コミュニティーの立場からすれば、23の地域に情報発信スペースを持っているので、本庁につくるとすれば、交流センターにはないようなものにしてもらいたい。

会長：学区ごとに必要な情報と市全体で必要な情報を分けてもらおうと良いか。

委員：市役所は色々なところにパンフレットが置いてあるが、1ヶ所に集中させてもらいたい。また、ケーブルテレビや、イベント、観光などのPRビデオを置いて、来るたびに同じものにならないように、できるだけ情報を更新してほしい。

副会長：各学区でどのようなことを行っているのかを、タッチパネル式で情報検索できるようになると良い。紙媒体だと、どこに何があるのか探すのも難しい。

会長：情報を集中しておくことも大事か。

事務局：学区ごとにホームページがあるので、それをタッチパネルで見ることができれば良いかと思う。日立駅の情報交流センターにもそのような機能はできてくると思う。

委員：今の公文書公開室は、車椅子で入るのがやっつとで、中で回転するのは難しい状態である。最低限、車椅子が動けるスペースは確保してほしい。

会長：大体、意見をいただいたので、参考に検討してほしい。これまでの意見をまとめると、会議室については、市民の利用は難しいと思うが、庁舎内の会議室が充実すれば、周辺の公共施設は市民が使いやすくなるということも含めて検討してほしい。レストランは、それほど立派なものではなく、位置については色々検討していただきたい。多目的スペースは使い勝手の良いものを。駐車場は無料で。ロビーや喫茶スペースなどを利用しやすく、バリアフリーについては当然配慮していただくということで。

会長：最後に、私の意見ですが、市庁舎を市民が誇れる顔にしてほしい。その中で、機能の項目を見て気になるのは、「景観」という言葉がどこにも出てこない。逆に、出てこないのが当たり前、きれいにつくるのは当たり前であるということかもしれないが、景観は機能としては重要。

つくば市では基本方針に景観が前面に出されている。景観はぜいたくではなく、お金をかけなくても良くすることは可能である。そういう観点は、ぜひ入れてほしい。本市の敷地では、つくば市のようにはいかないと思うが、現庁舎は、玄関がどこにあるかもわからない状態である。少なくとも、顔＝玄関はつくらなくてはいけない。

委員：全体の形としては、奇をてらいすぎないように、平凡ではあるが、長持ちさせるためにも、左右対象でオーソドックスな形態が良い。

委員：春分、秋分の日には新庁舎の真正面から太陽が昇るとか、特徴を持ったものにするとういのではないか。

委員：市民が誇れるようなコンセプトがあると良い。

委員：日立が誇る桜を取り入れて、色も安心するサクラ色をどこかで上手に使っていくと良い。

会長：以上で、機能の議論は終わりにしたい。

事務局：今回は、8月21日（火）の13：30から、場所は、今回と同じ議会の会議室で開催させていただきたい。今回は、これまでにいただいた御意見を反映させた、基本計画の素案をお示しさせていただきたい。